

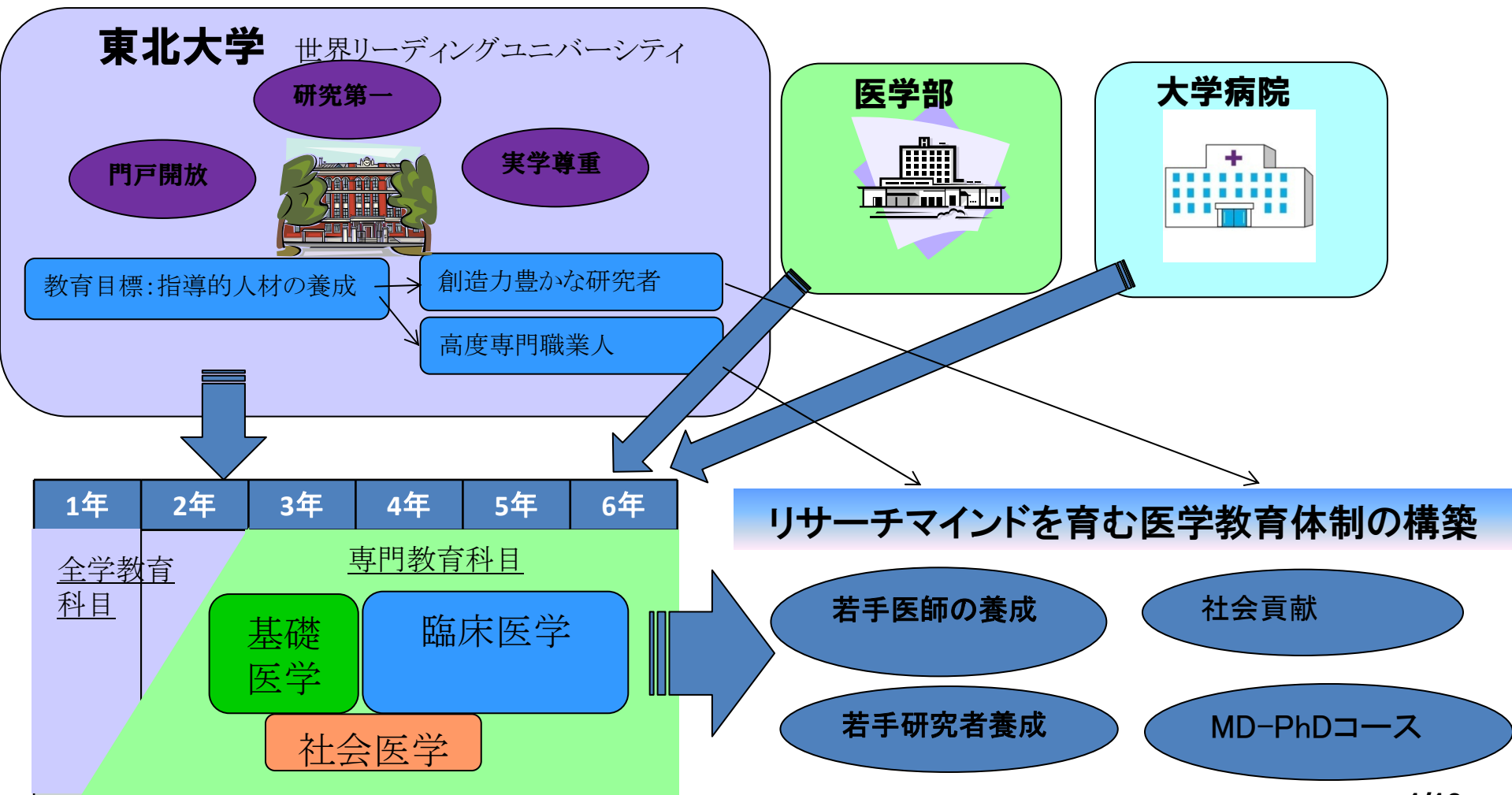


学校名：東北大学

リサーチマインドを育む医学教育体制の構築

真理の探究心と実践能力を育成するプロジェクト

東北大学における本プログラムの位置付け



医学部におけるこれまでの取り組み

医学修練1次 (H13-)

医療とヒューマン・コミュニケーション、知識と技術の関係を学ぶ



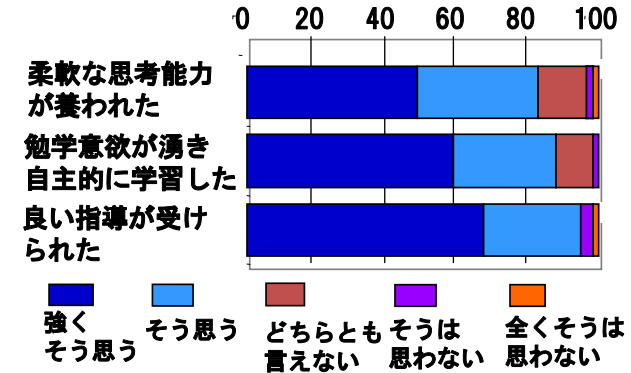
◆ **授業評価とフィードバック**
 ほぼ全教科・実習を毎年評価し、フィードバックする体制

基礎医学修練 (H1-)

基礎・社会医学を実験やフィールド活動で実践的に学ぶ



平成19年度基礎医学修練 (%)



MD-PhD制度導入 (H13-)

医学部学生に早期に 研究の機会を与え若手研究者を育成する

成績報告責任者制度 (H10-)

グループ指導体制の強化

◆ **ファカルティー・ディベロップメント(FD)**

- 東北大学医学教育研修会
- チュートリアル教員養成FD
- 臨床実習学生指導法FD
- OSCE評価者育成FD
- 大学院教員養成FD



本取り組みの目的・目標

企画の目的

学生が人類の幸福へ貢献する**高い志と倫理観**を獲得し、**真理を探究する心**と、これを**実践する能力**を、入学早期から育める**システマティックで段階的なカリキュラム**を構築

学習目標

- ◆ 医学生の、「学び」への明確な**目的意識**の獲得
- ◆ 医師・医学研究者に求められる**高い倫理観**の習得
- ◆ 自ら問題を抽出し真理を求める**旺盛な探究心**の獲得
- ◆ 問題抽出・解決で十分に活用できる、**柔軟な知識**のネットワーク構築
- ◆ 問題を自ら解決できる**実践的な能力**の獲得

これらは全ての医療人に求められる重要な資質・能力



目標とする 人材

高い理想を持ち、自ら新しい医学を切り開き
将来の医療を支えてゆく創造的医師

日本学生支援機構 優秀学生顕彰 受賞者

- 平成22年度 学術分野

大賞 古瀬 祐気 (東北大学 医学部 6年)

優秀賞 宇井 あかね (東北大学 医学部 6年)

奨励賞 小山 泰 (東北大学 医学部 6年)

- 平成21年度 学術分野

大賞 長沼 透 (東北大学 医学部 6年)

日本学生支援機構 優秀学生顕彰 受賞者

- 平成20年度 学術分野

大賞 吉野 優樹 (東北大学 医学部 6年)

- 平成19年度 学術分野

優秀賞 眞野 唯 (東北大学 医学部 6年)

- 平成18年度 学術分野

優秀賞 鈴木 秀明 (東北大学 医学部 6年)



東北大学

東北大学医学部 地域医療への取り組み

平成23年1月 東北大学医学部医学科



地域医療への取り組み

- 医学部入学定員増

【平成21年度：10名】

(内訳) 緊急医師確保対策 5名

経済財政改革の基本方針2008 5名

【平成22年度：9名】

経済財政改革の基本方針2009

うち2名は研究医養成のための増員

【平成23年度 1名】

新成長戦略 1名

- 入学者選抜方針

地域枠は設けずに、AOIII・一般入試にて選抜する。

村井嘉浩宮城県知事による奨学金制度紹介

日時：平成23年1月13日（木） 11:30～12:15

場所：医学部第1講義室



宮城県地域医療セミナー in 東北大学



東北大学

東北大学医学部医学科カリキュラム(全体)

1年	2年	3年	4年	5年	6年
教養科目 臨床医学修練(1次) 地域医療動機付け教育	教養科目 基礎医学 地域医療体験実習	基礎医学 社会医学 基礎・社会医学実習 基礎医学修練	臨床医学 社会医学 臨床医学修練(2次) 選択制統合型講義・演習 CBT・OSCE	臨床実習 臨床医学修練(3次) 地域医療実習	臨床実習 基礎・社会医学実習 高次医学修練 卒業試験 医師国家試験 長期地域医療実習



地域医療基幹科目



地域医療関連科目

カリキュラム(1・2年)

1年次

- ・全学教育科目
- ・細胞生物学, 医学基礎生物学, 臨床医学修練(1次), 動機付け学習
- ・地域医療動機付け教育(H21より)

2年次

- ・全学教育科目
- ・基礎医学
遺伝学, 組織学, 生理学, 発生学, 医化学, 放射線基礎医学, 免疫学, 肉眼解剖学, 薬理学 I, 病理学 I, 教育GP関連科目[Advanced Science Course (ASC), Workshop for Tackling Question (WTQ)]
- ・地域医療体験実習(H18より)



カリキュラム(3年)

3年次

・基礎医学

医化学実習, 薬理学Ⅱ, 病理学Ⅱ, 微生物学, 生体機能学実習

・社会医学

衛生学, 公衆衛生学, 医の倫理学・社会学, 医学心理学, 法医学

・基礎医学修練

・基礎医学チュートリアル

・医学専門英語1



カリキュラム(4年)

4年次 **現在、改訂中！**

・臨床医学

内科学Ⅰ(循環), 内科学Ⅱ(呼吸器・老人), 内科学Ⅲ(腎・高血圧・内分泌), 内科学Ⅳ(血液・免疫・感染), 内科学Ⅴ(代謝・診療), 内科学Ⅵ(消化器・肝), 内科学Ⅶ(神経), リハビリテーション医学, 外科学Ⅰ(消化器・一般), 外科学Ⅱ(移植・腫瘍・一般), 外科学Ⅲ(循環器・呼吸器), 外科学Ⅳ(整形・形成), 外科学Ⅴ(神経), 外科学Ⅵ(小児), 産科婦人科学, 精神医学, 皮膚科学, 泌尿器科学, 小児科学, 眼科学, 耳鼻咽喉科学, 放射線医学, 麻酔学, 臨床検査診断学, 救急医学, 臨床薬理学, 臨床遺伝学, チュートリアル(症候学), 臨床推論演習, 臨床腫瘍学

・社会医学

病院管理学, 法医学

・選択制統合型講義・演習

・医学専門英語2

・臨床医学修練(2次)

・CBT, OSCE



カリキュラム(5・6年)

5年次

- 臨床医学修練(3次)
- 地域医療実習(H17より)

6年次

- 高次医学修練
- 長期地域医療実習(H21より)



東北大学 地域医療 支援体制(学内)

医学科運営委員会

医学教育推進センター

カリキュラム委員会
(地域医療担当)

医学部

大学
病院

総合診療部

卒後研修センター

地域医療連携センター

地域医療支援機関

卒前教育

卒後教育

医師派遣等



地域医療に関する教育

導入経過

平成17年度:5年次「地域医療実習」の導入

平成18年度:2年次「地域医療体験実習」の導入

平成19年度:2年次「地域医療体験実習」事前・事後ワークショップの導入

地域医療実習指導医の委嘱制度の導入

平成20年度:1年次「臨床医学修練(1次)」において、地域医療、プライマリ・ケアをテーマとするワークショップを導入

平成21年度:6年次「高次医学修練」において、1か月以上にわたる長期地域医療実習を導入。

1年次「動機付け学習」において、「地域医療動機付け教育」を導入



1年次「地域医療動機付け教育」

○目標:

- ①地域医療という考え方の多様性とその実際、特に東北地方・宮城県での実情について理解する。
- ②地域医療について興味・関心をもつ学生が増える。
- ③宮城県の奨学金について情報提供する。

○内容:

- ①宮城県内の自治体病院医師による講演(2人)
- ②宮城県奨学金制度紹介

○授業形態:従来実施してきた「臨床医学修練(1次)」Ⅱ期(10月～2月毎週金曜日4時限)の中で3時間を地域医療動機付け教育として設定し、講演と演習形式で実施。



2年次「地域医療体験実習」及び 事前・事後ワークショップ

61の市中協力診療所に2年次学生を派遣し，低学年のうちに実際のプライマリ・ケアの場を見学体験することで，医者と患者との関係の在り方を学ぶ

医学に対する学習意欲を高め，将来社会に貢献する自覚を得る。

学生1人につき，3日の見学実習
実習前後にワークショップを行う。



5年次「地域医療実習」

- 地域医療の第一線病院における診療に参加し、臨床能力の向上を図る。
- 医療スタッフ・患者間の関係を理解し、地域医療を取り巻く社会的状況を認識する。
- 学生1人につき、5日の臨床実習
- 43の東北大学長陵協議会関連病院(東北6県)に学生を派遣する。
- 平成20年度より少人数の学生を年間を通して派遣し、特にプライマリ・ケアの経験ができる病院に重点的に学生を派遣する。



6年次「高次医学修練」

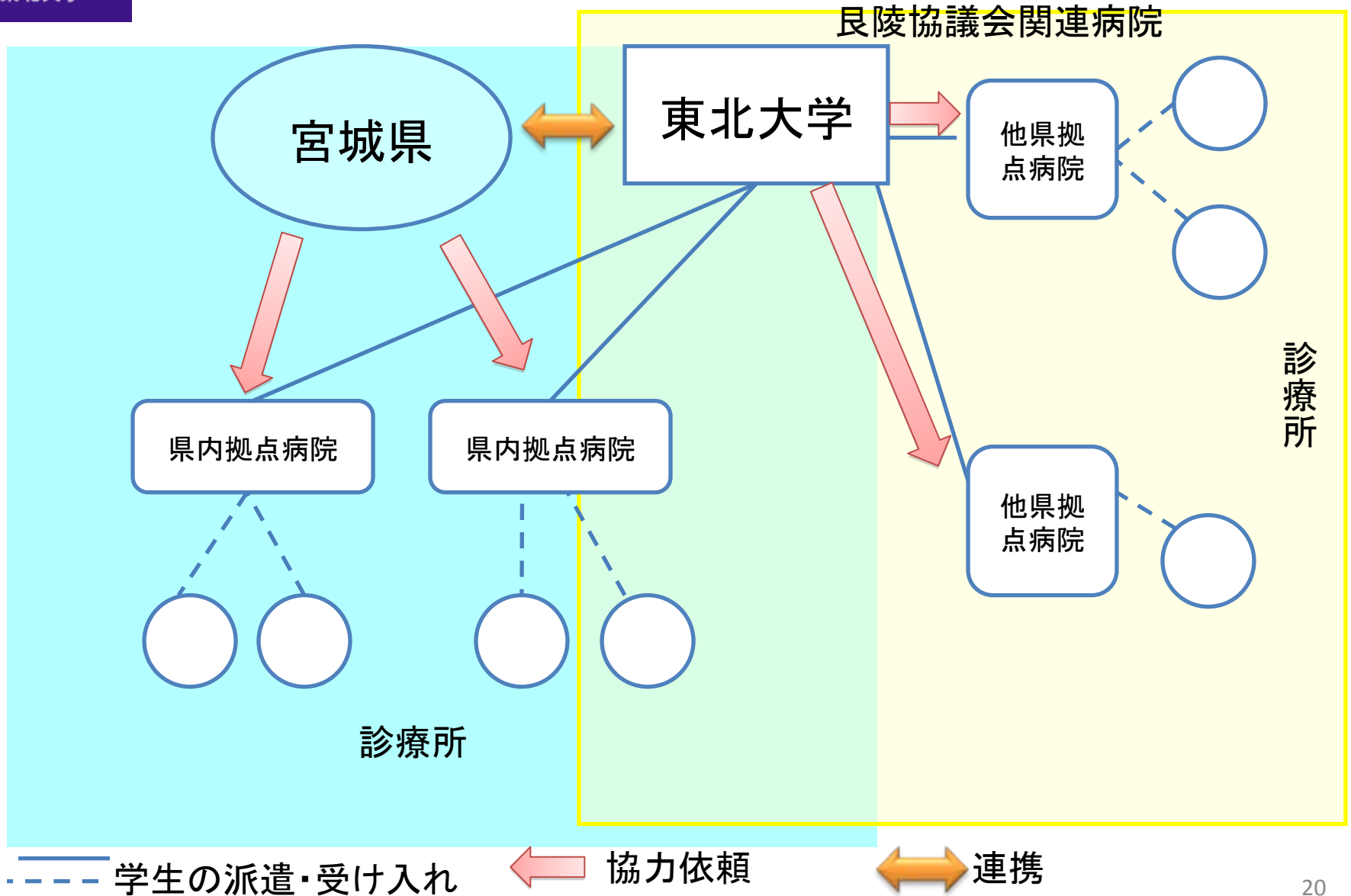
4月～7月を月ごとにⅠ期～Ⅳ期と設定し、学生は各期ごとに選択で希望する研究室に配属し、より高度な診療参加型実習を行う。

平成21年度より宮城県の指定する病院・診療所にて、2週間～1か月以上の「**長期地域医療実習**」を導入した。



東北大学

6年次長期地域医療実習 実施体制





地域医療関連科目

1年次

「臨床医学修練(1次)」の時間数を増やし、「地域医療」に関するワークショップ、講義等を行う。

4年次

「選択制統合型講義・演習」において、地域医療・在宅医療の第一線で活躍する医師を非常勤講師として招聘し、豊富な実体験に基づいた講義を行っている。

産科婦人科学、小児科学、臨床検査診断学の医師不足の特定分野における授業時数を増加し、教育の充実を図る。



卒後の支援体制

- 地域医療に従事する医師に対して、キャリア形成の支援を充実させる。
- 大学院社会人入学制度を活用し、地域医療に従事しながら、先端医療の診療・研究を行い、学位を取得できるシステムを構築する。
- 地域医療，プライマリ・ケアを担う総合医療学分野への大学院生受け入れ，指導体制の強化



大学病院 初期研修プログラムの充実

- 宮城県奨学生の返還免除条件に仙台市外の指定病院での勤務を義務付けるが、東北大学病院での初期研修期間は一部免除の対象となる。
- 必修科である地域医療の協力病院を60から91に増加した。
- 東北高度医療人キャリアパス支援システムを活用し、東北地方や他大学の関連病院のネットワークを融合する。



その他の取り組み1

- 広報活動

高校向け，在学生向け，卒業生向け，東北地方の医師向けの各種説明会を宮城県と共催で行う。

- 宮城県主催の関連病院・診療所との意見交換会



その他の取り組み2

- 分野別偏在対策

産科・麻酔科・小児科を集約した「周産期総合診療医 (General Perinatal Practitioner:GPP) を養成する。

小児科：宮城県立こども病院との連携協定締結

救急：大学病院に高度救命救急センターを設置し、規模を拡大した。

感染症：宮城県と感染症対策の支援に関する協定書を締結。

その他の取り組み3

- 女性医師定着策

学内保育所の拡充と女性休憩室を設置した。

- 地域医療に従事する医師に対し、シンポジウムの開催，診断・治療コンテンツの設置を行った。
- 東北地方各病院への医師派遣
- 生涯教育講座

総合診療フォーラム，循環器生涯教育講座等